

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11294

わかやま名所・旧跡絵画展開催交付金事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
中事業	わかやま名所・旧跡絵画展開催交付金事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	洲崎 敬一郎 435-1194
事業実施の根拠法令	わかやま名所・旧跡絵画展開催交付金交付要綱		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	本市の名所や旧跡をテーマにした絵画展を開催し、本市の美術文化の振興を図るとともに、市民に歴史や文化を身近に感じ慣れ親しんでもらう。		油絵・水彩画・版画・日本画・水墨画などの一般公募を行い展示し、作品の趣に重点を置く絵画展を開催する。 交付先 わかやま名所・旧跡絵画展実行委員会 会長 森本 光子			
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	
	第5回わかやま名所・旧跡絵画展 平成30年1月28日～2月3日 和歌山市民会館 展示室	第6回わかやま名所・旧跡絵画展 平成31年1月27日～2月2日 和歌山市民会館 展示室	第7回わかやま名所・旧跡絵画展 令和2年1月26日～2月1日 和歌山市民会館 展示室	わかやま名所・旧跡絵画展 会期 1月下旬から2月上旬まで 開催場所 和歌山市民会館 展示室	第9回わかやま名所・旧跡絵画展 令和4年1月下旬～2月上旬 (予定)	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	800	800	800	800	800	800	800	0	800	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,197	1,356	1,599	1,679	1,853	1,853	2,095	0	2,095
	正規職員以外	100	200	497	0	0	0	0	0	0
	小計	1,297	1,556	2,096	1,679	1,853	1,853	2,095	0	2,095
国庫支出金	0	0	0	0	400	400	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	800	800	800	800	400	400	800	0	800	0
所要人数 (人)	正規職員	0.15	0.17	0.20	0.21	0.23	0.23	0.26	0.00	0.26
	正規職員以外	0.04	0.08	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	負担金、補助及び交付金 800千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
開催日数		日	目標値	7	7	7	7	7
			実績値	7	7	7		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
出展数		点	目標値	110	110	110	110	110
			実績値	94	92	101		
			達成度(%)	85.5%	83.6%	91.8%	%	%
入賞者数		人	目標値	13	10	10	10	10
			実績値	13	10	11		
			達成度(%)	100%	100%	110%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	絵画の制作者に発表の機会を与えるだけでなく、絵画を通じて本市の名所や旧跡を広く知ってもらい、また郷土愛を深めるきっかけとなる。
見直し・改善内容	入賞作品を掲載したポスターを市内の文化施設やの観光案内所に配布し、本市の名所や旧跡のPRに努める。